

地域企業の持続的発展に向けて！

3月27日(水)、京都信用金庫本店にて未来力会議を開催。多様な業種の若手経営者の皆様をはじめ、金融機関や支援機関の方々など約140名に御参加いただきました！

当日は、ビジネスアイデアの今年度の最終発表のほか、昨年9月に発表された「京都・地域企業宣言」の理念を踏まえた「京都市地域企業の持続的発展の推進に関する条例」及び関連施策について本市から報告しました！！



～30年度ビジネスアイデアの最終プレゼン～

11名のアイデア発案者が、1年間の検討結果をプレゼンテーション！アイデアそれぞれに対し、顧問からの励みや参加者から「共感コメント」の手渡しなど、活気あふれる最終発表となりました！

新編会「リエナーレ」若手の着物作り職工業を担う女性5人の合同展



(株)月虹舎 野原 佳代

(背景)

若者の着物離れが進んでいることや、京の文化が、若い世代に伝承されていないことを実感している。

そういった中でも、着物の情報を探している方は一定数おられ、「着物のことを知りたいけど、誰に相談したらいいかわからない」という方に対し、着物に関してあらゆることに相談に乗ること等、新たなアプローチができるのではないかと考えた。

(概要)

メンバーは全員女性で着物まわりの作り手として活躍。着物に関するあらゆることに相談に乗りつつ、作り手として、より詳しい情報、制作の工程を踏まえてアドバイス。工房見学ツアー等を実施し、ものづくりの現場や作品が生まれるまでのストーリーを体験し、京都が育ててきた伝統文化の継承、伝統産業振興につなげたい。

(共感コメント)

- ▶日本の伝統を守り、経済活動として形にしようとしている点が良い。
- ▶きもの文化を世界に伝えたい気持ちが伝わった。

京都市内の森林、製品を生かしたアップサイクルビジネスプラットフォーム構築



(株)ヒューマンフォーラム 井垣 敦資

(背景)

京北地域では、近年デザイナーやアーティスト、クラフト作家の拠点としての活動や移住が見受けられる。

本アイデアの事業化により、林業や農業等の一次産業だけではなく、京北地域に新たな仕事や商いを創出し、地域の活性化の一助になるのではないかと考えた。

(概要)

弊社で検討中の新事業「古着のアップサイクル」事業との連携。京北に移住してきたデザイナー等をはじめとした市内企業と知恵を出し合うことで、京北地域で新たな仕事を生み出していきたい。
※アップサイクル…廃物をそのまま再利用するのではなく、商品としての価値を高めるような加工を行うこと。

(共感コメント)

- ▶廃棄されるものを逆にブランド化するところに共感した。
- ▶京北を拠点にすることで他への広がりが見込める。

BREWERS GUILD KYOTO (クラフトビール部)



(株)翠灯舎 田中 郁后

(背景)

ここ10年で京都ではクラフトビール醸造所が8カ所、ビール醸造を生業にする醸造家は約20名近くとなった。醸造所毎に個性や立地を活かした事業が展開されており、市内でのクラフトビールの盛り上がりやプロモーション活動を期待する声が多くあるが、個別活動にとどまっている。

本アイデアの事業化により、京都のビール職人が繋がり、ビール作りに喜びを感じクラフトビール文化をつくることのできるのではないかと考えた。

(概要)

クラフトビール醸造所(ブリュワリー)や醸造家(ブリュワー)を支える仕組み作り。各醸造所が参画する共同体組織を立ち上げることで、各醸造所の課題解決とともに京都でのクラフトビール文化の機運を高め、クラフトビールを京都の新たな文化として定着させていきたい。

(共感コメント)

- ▶文化をつくることに共感。
- ▶事業者等がwin-winの関係をつくれる仕組みだと感じた。

KoA (KYOTO ORGANIC ACTION)



京都オーガニックアクション協議会 鈴木 健太郎

(背景)

市内での有機農法の生産者が少しずつ増えてきているが、既存の八百屋やスーパー以外での販売先の展開や、生産者主体の値段設定の模索など、新たな販売先や流通の仕組みの必要性があると感じている。

本アイデアの事業化により、京都市の有機農法の生産物をより身近なものにできるのではないかと考えた。

(概要)

有機農法野菜の生産拡大に向けた新たな販売や流通の構築。生産者が、相応の対価を得つつ、安心安全な野菜を消費者に提供することで、有機農法野菜の価値を広めていきたい。

(共感コメント)

- ▶オーガニックの連携が広がるのがこれからの時代には必要。素晴らしい取組。
- ▶農業を発展させるために、物流やマップ等の仕組みを整えるところが良い。

アートイノベーション・サークル



(一社) アーツシード京都 あごう さとし

(背景)

特に国際的な経済活動においては、芸術的文化的な背景を持つことは必須と言える。また京都は、伝統文化・伝統芸能から現代芸術まで幅広く存在しているが、それを教養として学べる場は多くないと感じる。

本アイデアの事業化により、アートとビジネスが連携した、創造的な企画を生み出す土壌づくりに貢献し、京都の経済界の文化力の底上げをすることができるのではないかと考えた。

(概要)

京都の文化芸術に関する教養講座の開催。東九条に誕生する小劇場「Theatre E9 Kyoto」を活用し、知識や体験としてアートに触れる機会を提供する。

(共感コメント)

- ▶アートはイノベーションの源だと思う。
- ▶経済を動かすのは人間。その人間の心の豊かさを育成するのが芸術。芸術の果たす影響力は大きい。

ゲストハウスxシェアハウスx小規模多機能型居宅介護事業



(有)山田木工所 山田 正志

(背景)

世の中には様々な事情により働けない、生活することが難しい方がたくさんいる。

同じような事情を抱えた方だけで生活すると助け合うことが難しいが、事情が違えば助け合いながら生活できる仕組みを作り、社会的弱者が安心して幸せになれる社会にしていけることができるのではないかと考えた。

(概要)

働くことが困難な(障害者、高齢者、シングルマザー、児童養護施設出身者、難病者、身寄りのない人などの)社会的弱者が助け合うシェアハウス・グループホームの設立。ゲストハウスを隣接しシェアハウス・グループホームの住人が働く場所を作ること、自立を応援する仕組みをつくるとともに、外国人観光客に日本・京都を身近に感じてもらいたい。

(共感コメント)

- ▶SDGsの「誰ひとり取り残さない」をまさに形にされようとしているところ。

1←0 KYOTO~10年後の京都のHERO 創出プラットフォーム~



(株)美京都 中馬 一登

(背景)

若者には大きな可能性があり、京都が持続・発展していくためには、若者の力が必要であるが、現代の社会は、若者に対して、未来の可能性を広げる機会を提供できていないと感じる。

本アイデアの事業化により、京都から世界で活躍する10代の起業家・リーダーの輩出や、価値を創出できるオンリーワン人材を増やし、京都の経済成長、雇用創出に寄与できるのではないかと考えた。

(概要)

10年後の京都のHEROを創出するプラットフォーム「1←0 KYOTO」を形成。生きる力を習得する「キャリアラボ」、実践の場である「チャレンジインターン」、最善な進路選択「新たなステップアップ」の3ステップで人材を育成し、京都のあらゆる課題を解決していく。

(共感コメント)

- ▶10代からの人材育成は絶対必要。
- ▶熱意とビジョンが素晴らしい。

京都の良いものを求める人へあますところなく届ける



(株)ソフトウェアクリニック 竹野 政吉

(背景)

京都を訪れる外国人観光客数は全国4位だが、消費額は33位と低位(2017年観光庁調査)。また、京都には伝統工芸に代表されるような、京都ならではの逸品が多いが認知度が低いと感じる。

本アイデアの事業化により、訪日外国人の京都での消費を促し、京都の伝統工芸の素晴らしさを世界に告知できるのではないかと考えた。

(概要)

外国人観光客をターゲットに「京都ならではの逸品と価値」を提供する専用サイトを製作。訪日前に同サイトを活用し希望の商品を注文すると、京都を訪れた時に指定した場所で「京都の逸品」を手渡しで受け取る仕組みを構築し、世界に広めたい。

(共感コメント)

- ▶「手渡し」は人が集まる場所が生まれる。
- ▶インバウンドをターゲットにしている点が良い。

外国人留学生の就職率を向上させる!



(株)T2C 奥達也

(背景)

担い手不足による企業の廃業数が年々増加しているが、一方で、情報の不足からか外国人留学生向けの求人が少なく、留学生側も日本の就職活動の仕組みが分かっていない状況。

本アイデアの事業化により、企業の雇用創出や、ひいては地域社会の活性化に寄与できるのではないかと考えた。

(概要)

外国人留学生就職支援事業の実施。外国人留学生の就職希望者率は約70%にもかかわらず、就職率は約30%、京都府はさらに低く約16.1%と、多くの留学生が希望がなわず帰国している。こういった外国人留学生と担い手不足に悩む企業とを橋渡しすることで、この10年以内に政府の掲げる就職率5割を達成し京都におけるリーディングカンパニーを目指したい。

(共感コメント)

- ▶外国人留学生の多い京都には必要な事業だと思う。
- ▶担い手不足解消に寄与する。

ensemble cast Kyoto



L-lab 大木 備

(背景)

木材や建築の業界では①林業の担い手の減少、②林業の経営的視点の欠如、③国産材の流通価格が外材と比較して高いため、顧客が犠牲になっている現状がある。

本アイデアの事業化により、複雑な木材流通をできるだけシンプルに、小さなモデルで実現する仕組みを作り、全国各地で実施することができるのではないかと考えた。

(概要)

①付加価値の高い製品化、②都市部での木材の天然乾燥の実験、③簡易製材機を用いた製材の実施、を通じた都市型林業モデルの構築。山間部と都市との境をなくし森と暮らしをシンプルにつなぎ、何でも買える時代だからこそ、長く使うことや作る楽しさをもう一度実感してもらいたい。

(共感コメント)

- ▶林業の現場と都市を結びつける試みに共感した。
- ▶ニーズとマーケットは確実にある。当社の不動産等で活用できる。

地域の小学生の起業塾 地育地生 (ちいくちしょう)



(有)鈴木モーターズ 鈴木 千鶴

(背景)

労働力が減少する中で、いかに中小企業が経営を持続するかが課題。働き方改革は、雇用側だけの問題ではなく、仕事に対する意識の高い社会人が必要となる。一方で、多数の日本の大卒者が専門性を身につけていない現実がある。

本アイデアの事業化により、子どもの頃から職業意識を育み、成長の過程で仕事観を取得することができるのではないかと考えた。

(概要)

小学生向けワークショップや出張授業等の開催。地域の中小企業と連携し、経営者が、どんな夢を持って、日々どう取り組んでいるかを伝えること等で、地域で育ち、地域で生きる子どもを育み、地域に職業循環を作ることによって地域経済を持続可能なものとしたい。

(共感コメント)

- ▶「地育地生」という理念が素晴らしい。
- ▶育休中の女性の登用や企業名鑑の作成等々、面白いアイデアがたくさんあった。

顧問からの激励・アドバイス



「京都の未来を作る事業として、将来にわたって、継続・発展していくには財源が必要。事業の具体化に当たっては、財源を明確にして進めていただきたい。」

(京都府中小企業団体中央会 安藤 源行副会長)



「熱意溢れるアイデアを聞かせて頂き、未来力会議の進化を実感した。皆様の知恵、そして、このネットワークを大事にして一緒に京都の発展に取り組んでいきたい。」

(京都信用金庫 榊田隆之 理事長)

～ “地域企業条例” 及び “地域企業応援プロジェクト” ～

本市から、「京都市地域企業の持続的発展の推進に関する条例」及び、関連予算「地域企業応援プロジェクト」の概要について報告。中小企業を中心とする地域企業の持続的発展をしっかりと支援してまいります！

「地域企業の持続的発展の推進に関する条例」の構成

- 前文及び目的
 - ★「京都市中小企業未来力会議」における「京都・地域企業宣言」の策定経過、宣言の理念への共感等を掲げています。
- 地域企業の定義
 - ★中小企業・小規模事業者をはじめ、京都市内に本店又は主たる事務所を有し、地域に根差して活動される事業者を対象としています。
- 基本理念
 - ★「京都・地域企業宣言」の理念を踏まえ、事業を通じて地域と共に発展、自助努力及び地域企業相互の連携の推進、多様な担い手の育成を規定しています。
- 地域企業の責務
 - ★自らが地域社会の一員であることを改めて認識し、新たな価値の創造に挑戦、市民や市とともに基本理念の実践に努めることを規定しています。
- 市の責務
 - ★地域企業の持続的発展の推進に関する施策を総合的に策定し実施するほか、地域企業の実態を把握し意見の反映に努めることを規定しています。
- 市民の役割
 - ★地域企業が地域の持続的発展に寄与してきたことへの理解を深め、地域企業の製品やサービスの利用等を通じた協力など、積極的な役割を果たすことを規定しています。
- 市の施策
 - ★市が取り組む施策について規定しています。
 - ・広報、啓発及び表彰
 - ・経営相談、起業及び事業の海外における展開の促進策
 - ・事業の担い手の育成及び確保に関する施策
 - ・地域企業の受注の機会の拡大その他市場における公正な取引の推進に関する施策
 - ・地域企業の地域における社会的活動の推進に関する施策
 - ・地域企業による創造的活動の支援

「地域企業応援プロジェクト」

創業・イノベーション拠点創生事業

若者や起業家、クリエイティブな人・企業が集まり、地域企業と交流・連携する中で、イノベーションが生まれ続けるまちを目指すため、都心部小学校跡地等を活用し、民間事業者のアイデアを生かした創業・イノベーションの拠点づくりを推進

ベンチャー型事業承継支援

事業承継をきっかけに、若手後継者が、家業が持つ経営資源を最大限に活用した新たなビジネスの創出、新市場開拓等に挑戦し、経営革新による企業の再成長に取り組むことを支援するセミナー等を実施

京もの担い手創出・育成事業

若手職人がコーディネーターの支援の下でインターンシップの受入れを行うことで、雇用をはじめとする経営能力の向上を推進

地域企業未来力創出コーディネーター事業

地域企業の持つ様々なアイデアの実現に向け、幅広い知見を持つコーディネーターによる助言、相談会の開催、企業間マッチング等を行い、新事業等の創出を支援

地域企業顕彰制度の創設

「京都・地域企業宣言」の理念に基づき、企業間連携、地域コミュニティ活性化、担い手育成、新価値創造、自然環境保全等について、モデルとなる事業や活動を行う地域企業を表彰

地域企業レジリエンス構築支援事業

あらゆる危機に対して、平常時の予防力、危機発生時の対応力、危機からの再生力等を高めるため、災害時の事業継続計画（BCP）策定や企業防災に関するセミナー等を実施

地域企業・担い手交流促進事業

（公財）産業雇用安定センター等との連携や、本市が持つネットワークの活用により、企業間マッチング支援を実施し、中小企業と大企業との担い手交流を促進することで、担い手不足の解消や担い手の育成、企業間の連携強化等を推進

詳細は、**地域企業 条例**、**京都市 平成31年度 予算**で検索を。

～交流会～

参加者同士の交流や市の振興策について意見交換。多くの方に参加頂き、大いに盛り上がりました！！



～市長・顧問からの挨拶～

門川 大作 京都市長



「地域企業の持続的発展の推進に関する条例」が全会一致で可決。これからが大事。共々に頑張っていきたい。

渡邊 隆夫 京都府中小企業団体中央会会長



未来力会議は素晴らしい会議。回を重ねるごとに、アイデアがブラッシュアップされている。あらゆる連携を進めてもらいたい。

<お知らせ>

今年度は、アイデア相談会の充実等、未来力会議をパワーアップさせた「地域企業未来力創出コーディネート事業」の実施、また、モデルとなる活動に取り組みされる地域企業を表彰する「地域企業顕彰制度」を創設します！

未来力会議では、皆様の未来志向の活動を全面サポート。「参加して良かった！」、「会議を通して出会い、気づきがあった！」と言っていただけるよう、引き続き取り組んでまいります！

<事務局名称が「中小企業振興課」から「地域企業振興課」となりました！>

条例の制定を機に「地域企業振興課」へ改称するとともに、企業における働き方改革や雇用創出、ソーシャルビジネスに関する事務が当課に移管。これからも地域企業の持続的発展をしっかりと支援してまいります。

京都市産業観光局商工部地域企業振興課

TEL：075-222-3329 FAX：075-222-3331

会議の最新状況などを facebook にて公開しています。是非ご覧ください！

(<https://ja-jp.facebook.com/kyotoshichushokigyo/>)

<アンケートにお寄せいただいたご意見・ご感想等>

■ アイデア発表等、未来力会議全般について

- ・ 皆さんとても熱心で感動しました。
- ・ 初めての参加でしたが、様々な考え方、業種等が混じりあう良い会議だと感じました。
- ・ 利益だけでなく、よりよい生活・社会にしていこうという発表が多かったのが、とても心地よく感じました。

■ 「地域企業の持続的発展の推進に関する条例」、「地域企業応援プロジェクト」について

- ・ 地域企業の発展に寄与するものだと思います。
- ・ 地域により深く根差して循環しながら生きることの良さを強く実感したのに加えて、それを実践する事により、京都の魅力を世界に発信できると確認できました。